



平成 25 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 ANAホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊東 信一郎
(コード番号 9202 東証第1部)
問合せ先 グループ総務・CSR部長 今西 一之
(TEL . 03-6735-1001)

通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 4 月 30 日に公表した平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の通期業績予想および配当予想を修正することとしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,610,000	百万円 110,000	百万円 80,000	百万円 45,000	円 銭 12.82
今回修正予想 (B)	1,580,000	60,000	30,000	15,000	4.29
増減額 (B - A)	△30,000	△50,000	△50,000	△30,000	
増減率 (%)	△1.9	△45.5	△62.5	△66.7	
(参考) 前期連結実績 (平成 25 年 3 月期)	1,483,581	103,827	76,965	43,140	13.51

(2) 修正の理由

上半期の売上高は前年同期と比べて 444 億円増加しましたが、当初想定どおりの旅客単価・旅客数を確保できなかったこと、外的要因により国際線の新規開設・増便の実施時期が遅れたこと、さらには、エアアジア・ジャパン(株)の業績低迷等により、当初想定を下回りました。下半期の売上高につきましても、国内線において単価下落傾向が継続すると見込まざるを得ないことや、エアアジア・ジャパン(株)の事業計画を抜本的に見直しせざるを得ないこと等により、当初想定を下回らざるを得ないものと見込んでおります。これらの影響を勘案した結果、当初予想と比べて、通期の売上高は 300 億円程度減少する見通しとなりました。

一方、上半期の費用については、円安の進行に伴う燃油費及び外貨建て費用の増加、整備費の増加等により、当初想定を上回りました。下半期においても円安傾向が継続するとの前提を置かざるを得ない状況となっていることから燃油費等が増加し、通期の費用は当初予想より 200 億円程度増加する見通しとなりました。

かかる状況の下、今後とも収入・費用両面での収支改善に取り組んでまいります。当初予想比で営業利益・経常利益ともに 500 億円の減益を見込まざるを得ないものと判断いたしました。

なお、算出にあたりましては、米ドル円為替レートを100円、航空燃油費の一指標でありますドバイ原油の市場価格を1バレル当たり102米ドル、シンガポール・ケロシンを1バレル当たり120米ドルとしております。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想	—	—	—	4.00円	4.00円
今回修正予想	—	—	—	3.00円	3.00円
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成25年3月期)	—	—	—	4.00円	4.00円

(注)当社では中間配当制度を採用しておりません。

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する還元を経営の重要課題として認識しており、将来の事業展開に備えた財務体質強化の必要性も踏まえつつ、これを充実してまいりたいと考えております。

平成26年3月期の配当予想につきましては、前回公表時点(平成25年4月30日)では1株当たり4円を予定しておりましたが、今般、当初予想と比べて当期純利益が大きく減少する見通しとなったことから、1株当たり3円の配当予想に変更させていただきます。

※ 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上